

# 高松市立山田中学校 道徳便り 2024



明けましておめでとうございます。新年を迎え、子どもたちは新たな気持ちで学校生活を送っています。一日一日を大切に過ごすことを意識して、よりよい一年にしてほしいと思います。私たちも気持ち新たに道徳科の授業に臨んでいきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、12月の道徳の週のテーマは「**藍（日本の伝統）**」でした。年末年始は日本の伝統行事や文化にふれることの多い時期です。そのよさを感じてもらえればと思い、伝統文化について様々な視点から考えました。私たちの生活に根付いている日本の伝統は長い年月をかけて受け継がれてきたものであることを踏まえ、大切にするとともに受け継いでいきたいものです。



## 1年生 「日本のお米」

米や稲が日本の食文化や自然環境を支えてきたことを知り、これから伝統的な農業や文化を引き継いでいくことの大切さについて考えました。伝統文化を引き継ぐために、自分に何ができるのかについて考えを深めました。

- 日本はお米と大の仲良しですが、農家の人が減っています。だから私はお米をできるだけ食べて給食も残さないようにします。また食料自給率も下がってきているから地産地消に日ごろから取り組んでいきたいです。
- 今まで日本の文化を支えてきたお米に感謝し、お米の消費量を増やし、生産量も増やせる社会をみんなで築いていきたいです。
- 私はお米が好きなので、いろいろな食べ方をしてもっとお米を好きになりたいです。またおばあちゃんが農家なので、これからはお米作りのお手伝いを進んでやっていきたいです。
- 農業をする人が減ってしまうと、食料自給率が下がり、お米があまり食べられなくなってしまいますので将来が不安です。私は身近でできることから始めていきたいです。食べ物を大事にして食べ残しをなくすことを実行したいです。

切 り 取 り 線

ご意見欄

お名前



## 2年生 「一枚の布から」

夏祭りでお父さんの浴衣を着ることになったことをきっかけに、日本の伝統文化である和服について興味をもった話を通して、伝統や文化のよさとそれらを継承していくことの大切さについて考えました。



- 私も小さいとき、祭りがあったら浴衣を着て祭りに行っていました。今は、登場人物のように浴衣を着るのはめんどくさいと思って浴衣を着ていなかったけど、今日このことを学んで、日本の文化を受け継いでいくということは、とても良いことだと思いました。あらためて日本の文化の大切さに気づけたので、大切にしていきたいです。
- 伝統を受け継ぐとは、後世につないで今ある文化を大切にすることだと思いました。なので、日本だけでなく色々な国の人たちにも興味をもってもらえるようにしていきたいです。
- 私は二十歳になったら、おばあちゃんもお母さんも着た着物を着ると決めています。そのように、お母さんなどから教わったものを大切に、未来の子供たちに伝えていきたいです。
- 自分たちがあたりまえに思っていることは、昔の人ががんばって残したものであるから、今まで受け継がれてきた意味を考えて、自分たちもこれからも大切にしていきたい。

## 3年生 「障子あかり」

照明デザイナーの石井幹子さんが障子あかりについて述べた文章を通して、身近にある日本文化のよさを再認識しました。様々な継承の仕方があること、そして、継承していくことの大切さについて考えました。



- 日本の良さは、文化や食べ物の中に多くあると思っていたけれど、今回の作品ででている障子のように、私にはまだ気づいていない日本の良さがまだあることを改めて知ることができました。
- 自分もこの文章を読むまで、光の文化に注目したことがなかったので、感嘆しました。それ以外にも、日本家屋は多くの工夫があり、日本人の歴史的な文化だけでなく、様々な自然の文化の結晶なのだと思います。自然と共存する、それも日本は世界に誇れるものです。
- 日本の文化を外国の人に伝えることで、相手も自分も新しい気づきを得ることができると思いました。日本の文化を知らない人に伝えるために、日本の文化を学ぼうと思いました。
- 今まで当たり前で過ごしてきた和室が、外国の人には良くとらえられていて、ほろらしいです。日本に誇りを持って、生活していきたいです。
- 日本の文化をどんどん知ってもらいたいと思うように、海外の人たちも、海外の文化を知ってもらいたいと思っています。だから、海外の文化を積極的に受け入れ、共存したいと思う。